

令和7年度にあたって

令和7年度がスタートして、2か月が経過しようとしております。

令和7年度の当町の一般会計予算は、物価高騰対応や人件費の上昇、また施設の老朽化による改修費等の計上により、前年度比5.9%増の145億4,100万円となりました。

今年度は第六次函南町総合計画後期基本計画の4年目の年となります。計画に掲げる基本理念「環境・健康・交流都市 函南」の実現に向け、効率的な財政の運用により主要事業の推進に努め、町民の皆さまに安心して暮らしていただけるまちづくりを目指します。

さて、皆さまにご心配いただきました「軽井沢地区のメガソーラー事業」につきましては、事業者より「林地開発行為廃止届」が静岡県に提出されたことにより白紙となりました。

当町といたしましては、当初から一貫して不同意を貫き、事業者に対し毅然とした対応をとってまいりました。事業者自ら事業撤退の意思を示したことは、町民の皆様、函南町議会、静岡県議会及び函南町が一丸となって対応してきた結果であると受け止めております。これまで、本事業にご協力をいただきました多くの関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

また、下丹那等の不適切な盛土問題につきましては、一部、静岡県の指導により応急対策工事が実施されたものの、本来の是正工事までには至っておらず、改善が見られない状況が続いておりますが、令和7年5月26日から当町においても盛土規制法（宅地造成及び特定盛土等規制法）の規制対象区域となることから規制の強化が見込まれております。

今後も静岡県の指導方針を確認しながら、引き続き、静岡県及びその他関係機関等との協力体制のもと、当該事業者への毅然とした対応を継続してまいります。また、新たな不適切な盛土行為が行われないよう、規制強化の周知及び山間地のパトロールなどを講じ、対応を強化・継続してまいります。

函南町は地理的条件にも恵まれ、地域資源も豊かな町です。その特性を活

かしながら、町民の皆さまが安心して快適に、幸福感を持って生活できるようなまちづくりを引き続き推進してまいります。また訪れる人にも町の魅力や活力を感じていただけるよう、ホームページ等を活用し函南町の魅力を発信していけるよう努めてまいります。

引き続き、町政へのご理解とこれからのまちづくりになお一層のお力添えをお願い申し上げます。

令和7年5月23日

函南町長 仁科 喜世志